

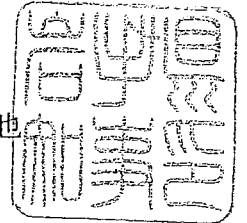
3 岩手県

【様式1】

医国第 880 号
平成 20 年 10 月 31 日

厚生労働大臣 舩 添 要 一 様

岩手県知事 達 増 拓 也



がん診療連携拠点病院の新規指定に係る推薦について

標記について、「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」（平成 20 年 3 月 1 日健康発第 0301001 号厚生労働省健康局長通知の別添）に基づき、推薦意見書及び 2 次医療圏の概要並びに推薦書を添付の上、下記の医療機関を推薦します。

記

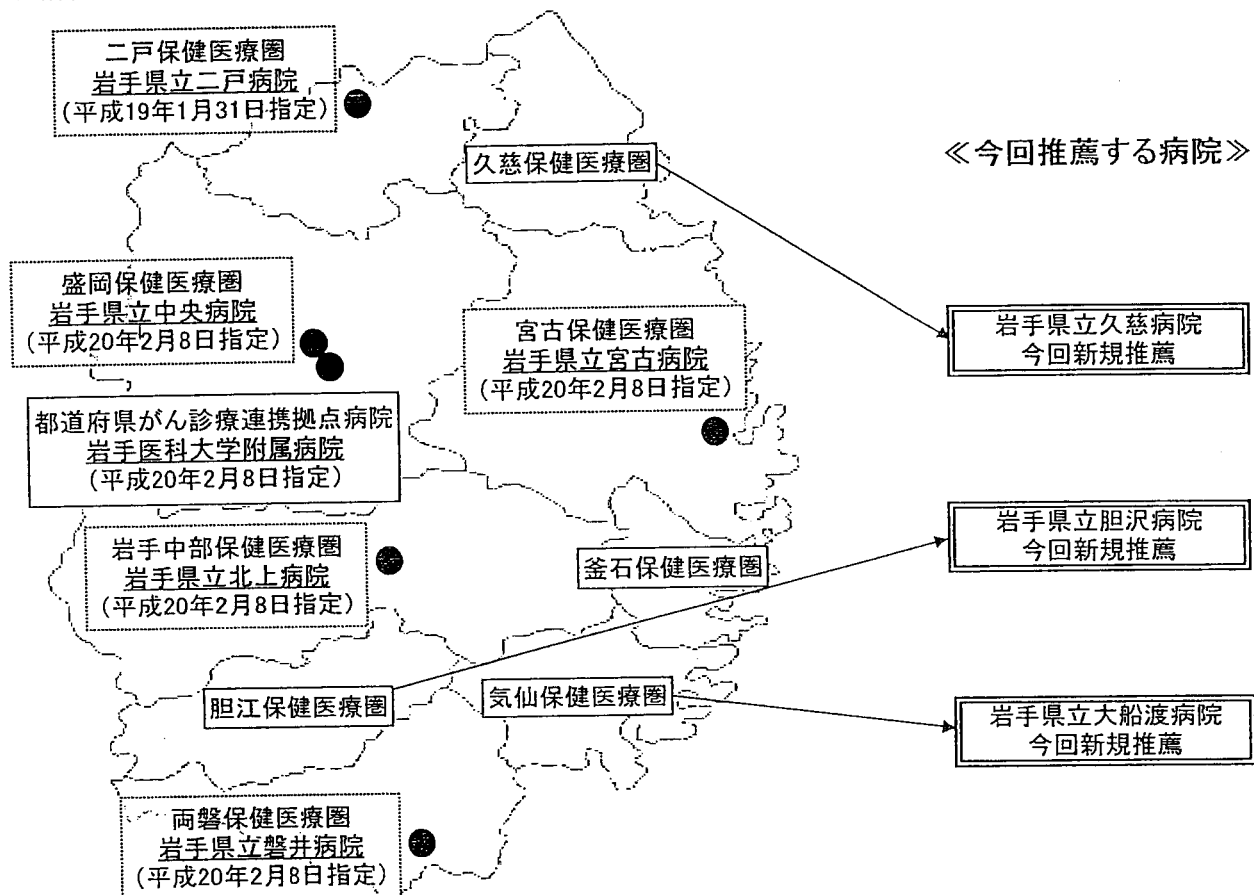
- 1 地域がん診療連携拠点病院
 - 岩手県立胆沢病院 （新規指定）
 - 岩手県立大船渡病院 （新規指定）
 - 岩手県立久慈病院 （新規指定）

担当：保健福祉部医療国保課 医療担当 西野 電話：019-629-5407 FAX：019-626-0837

岩手県 2次医療圏の概要

1. 圏域図

※所属する2次医療圏が分かるよう、がん診療連携拠点病院名を記載すること。



2. 概要

(平成20年10月1日現在)

医療圏名	面積(km ²)	人口	人口割合(%)	人口密度	病院数	がん診療連携拠点病院		
						既指定病院数	今回推薦病院数	計
盛岡保健医療圏	3,641.90	483,881	35.78%	132.86	42	2		2
岩手中部保健医療圏	2,762.27	235,261	17.40%	85.17	14	1		1
胆江保健医療圏	1,173.12	144,015	10.65%	122.76	10		1	1
両磐保健医療圏	1,319.64	139,985	10.35%	106.08	10	1		1
気仙保健医療圏	890.35	71,775	5.31%	80.61	3		1	1
釜石保健医療圏	641.89	56,381	4.17%	87.84	6			
宮古保健医療圏	2,672.42	94,952	7.02%	35.53	6	1		1
久慈保健医療圏	1,076.83	64,035	4.73%	59.47	4		1	1
二戸保健医療圏	1,100.21	62,102	4.59%	56.45	3	1		1
計	15,278.63	1,352,387	100.00%	88.51	98	6	3	9

注1) 「人口割合」欄は、県全体の人口に対する圏域ごとの割合を記入すること。

注2) 「人口密度」欄は、各医療圏ごとに、人口/面積(km²) (小数点以下第2位四捨五入)により算出した数値を記入すること。

注3) 「病院数」欄は、拠点病院以外の病院(診療所は除く。)も含めた数を記入すること。

注4) 「今回推薦病院数」欄は地域がん診療連携拠点病院を都道府県がん診療連携拠点病院へ指定変更する場合には()書きで、指定更新の場合には< >書きで、内数を示すこと。

推薦意見書

I 基本的な考え方

岩手県では、がん対策を総合的かつ計画的に推進する「岩手県がん対策推進計画」を平成20年3月に策定し、本県のがん対策を総合的かつ計画的に推進しているものであります。

本計画において、本県のがん医療の水準を向上させ、標準的治療の普及によるがん医療の均てん化を図るため、都道府県がん診療連携拠点病院及び地域がん診療連携拠点病院等のがん診療を担う医療機関の整備を進めることとしており、各保健医療圏に1施設を目処として地域がん診療連携拠点病院を整備することを個別目標としているものであります。

また、医療法に定める医療計画として平成20年3月に改定を行った「岩手県保健福祉計画」においても、がん対策を進める上で同様の位置付けを行っているものであります。

表1 岩手県内のがん診療連携拠点病院（平成20年10月現在）

保健医療圏名	指定病院	指定年月日
盛岡保健医療圏	岩手医科大学附属病院☆	平成20年2月8日
	岩手県立中央病院	平成20年2月8日
岩手中部保健医療圏	岩手県立北上病院	平成20年2月8日
胆江保健医療圏	(なし) ※今回推薦	
両磐保健医療圏	岩手県立磐井病院	平成20年2月8日
気仙保健医療圏	(なし) ※今回推薦	
釜石保健医療圏	(なし)	
宮古保健医療圏	岩手県立宮古病院	平成20年2月8日
久慈保健医療圏	(なし) ※今回推薦	
二戸保健医療圏	岩手県立二戸病院	平成19年1月31日

※ ☆印は都道府県がん診療連携拠点病院

II 岩手県がん対策推進計画及び岩手県保健福祉計画におけるがん診療連携拠点病院の位置付け

- 本県のがん医療の水準を向上させ、標準的治療の普及によるがん医療の均てん化を図るため、県がん診療連携拠点病院及び地域がん診療連携拠点病院等のがん診療を担う医療機関の整備を進めます。
- 都道府県がん診療連携拠点病院及び地域がん診療連携拠点病院等は、がん診療連携協議会の活動などを通じて、標準的治療を県内医療機関に普及定着させ、その質の維持・向上を支援し、また、肺、胃、大腸、肝臓、乳

腺などの疾患別のがん診療や高度進行がん、再発がん、膵臓がんなどの難治がんの診療を担う医療連携体制の構築を進めます。

- 都道府県がん診療連携拠点病院は、がんの専門医等のがん診療に関わる医療人の育成とともに、他医療機関とのテレカンファレンス等による診療支援、県内医療機関への専門医等の派遣など地域医療支援に取り組みます。
- がん患者への医療を連携して担う複数の医療機関と患者が診断・治療に関する情報を共有し、治療効果を高める地域連携パスの導入を進めます。
- がん診療連携拠点病院等において、手術療法、化学療法、放射線治療の組み合わせや緩和ケア、症状に応じた食事の提供などに総合的な検討を加え診療するがん診療連携拠点病院の整備を進めます。

III 地域がん診療連携拠点病院

岩手県は四国4県と匹敵する広大な面積をかかえている県であり、その中において、医療の地域完結を目指した9つの二次保健医療圏を設定しています。

平成19年度までに5つの保健医療圏においてがん診療連携拠点病院の指定を受けたところではありますが、平成20年度においては、新たに3圏域においてがん診療連携拠点病院の指定を受けるべく、

- ・岩手県立胆沢病院（胆江保健医療圏 新規）
- ・岩手県立大船渡病院（気仙保健医療圏 新規）
- ・岩手県立久慈病院（久慈保健医療圏 新規）

の3病院を推薦するものであります。

(1) 岩手県立胆沢病院（胆江保健医療圏）

岩手県立胆沢病院は、（一般331床、結核20床）は胆江保健医療圏（人口約144千人）における地域の中核的な医療機関であり、現病院は平成8年3月に移転新築され、その際にリニアック、MRI、ヘリカルCTなどの高度医療機器も整備し、広域中核病院として完結型の医療を提供する体制が整っております。

特にも当病院は肺癌及び疼痛対策（ペインクリニック）医療に関しては県南地域の中心施設として機能しております。

なお、現時点において当病院の緩和ケア体制について、精神症状の緩和に携わる医師の診療応援が平成20年4月より得られなくなったものの、平成21年1月から定期的な診療応援を得られることとなったこと、及び外来における専門的な緩和ケアの提供について、週1回緩和医療科長が担当する緩和ケア外来を開設することを決定し、平成20年12月からの開設に向けてその準備に取りかかった旨の申出書が提出されていることから、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

(2) 岩手県立大船渡病院（大船渡保健医療圏）

岩手県立大船渡病院（一般 370 床、精神 105 床、結核 10 床、感染症 4 床）は気仙保健医療圏（人口約 72 千人）における地域の中核病院であり、救急救命センターを併設し、3 次救急に対応できる病院であります。

また、がん診療に関しては当圏域で唯一放射線治療機器を有している病院であり、集学的治療を含めたがん診療を行っております。

なお、現時点において当病院の外来での緩和ケアについては相談支援センター等を窓口に対応し、緩和ケア認定看護師が各外来の看護師、相談支援センターの紹介・依頼を受け面接対応を行い、面接後は必要に応じ対応できる診療科を紹介し、緩和ケアを提供している状況であります。平成 21 年 3 月末に準備を完了し平成 21 年 4 月に「緩和ケア外来」を設置し、ケアの提供を開始する旨の確約書を提出していることから、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

(3) 岩手県立久慈病院（久慈保健医療圏）

岩手県立久慈病院（一般 295 床、療養 43 床、感染症 4 床）は久慈保健医療圏（人口約 64 千人）における地域の中核病院であります。当病院は平成 10 年 3 月に移転新築され、その時に併せて救急救命センターが併設され、また、リニアックの新たな設置や当時岩手県内で初めて緩和ケア病床（2 床）が設置されるなど、先進的ながん医療への取組みを進めている病院であります。

また、がん診療に関しては当圏域で唯一集学的治療を行うことができる病院であり、地域に根ざしたがん医療を実践しております。

なお、当病院は現時点において地域がん診療連携拠点病院の要件は全て満たしているものであり、今回当病院を地域がん診療連携拠点病院として推薦するものであります。

岩手県立北上病院の地域がん診療連携拠点病院の考え方について

平成20年2月8日付けで地域がん診療連携拠点病院として指定を受けた岩手県立北上病院において、平成21年4月の開設に向けた新病院の建築を進めており、移転時に併せて隣接市の県立病院と統合することとしております。

岩手県としては、現在有している同病院のがん診療連携拠点病院の機能に加え、緩和ケア病棟の新設等がん医療に係る機能の充実が図られることから、移転後の平成21年4月以降においても継続して地域がん診療連携拠点病院として指定を受けられることを確認するものであります。

1 経緯

岩手県立北上病院については平成20年2月8日に地域がん診療連携拠点病院として指定を受け、岩手中部保健医療圏のがん医療を行う中心的な医療機関として位置づけられているところ。

同病院は平成21年4月の開設に向けて新病院を建築中であり、新病院では緩和ケア病棟の設置やPET装置の新たに設置し、また、移転時に併せて隣接市の県立病院と統合を行うことにより、病床数が増加するほか、医療従事者数も増加するため、更なるがん医療の推進が図られるものであること。

2 推薦時の県の考え方

岩手県立北上病院は地域における中核病院であり、特にも緩和ケアに力を入れており、推薦時点での地域がん診療連携拠点病院の要件は全て満たしていることから、県として当病院の推薦をおこなったものであること。

なお、統合移転によりがん診療連携拠点病院の要件が満たされなくなるものではなく、また、がん診療連携拠点病院の指定期間は4年間であり、平成21年4月の統合移転された後においても継続して指定されることを前提に推薦を行ったものであること。

3 備考

平成19年度において、同病院の推薦を行う前に当時の室長補佐に口頭で本内容について確認を行い、統合移転後においても継続して指定を受けられる旨の確認を行っているものであること。

また、万が一、岩手県立北上病院が継続して地域がん診療連携拠点病院としての指定が受けられなくなった場合、診療報酬上の加算が受けられなくなるほか、がん診療連携拠点病院機能強化事業にかかる補助事業対象外となることから、がん医療の普及及び病院経営に多大な影響を及ぼすことが必至となること。

1 統合の概要

(1) 病床数及び診療科

区分	新病院	現病院
病床数	434床（一般414床、結核20床） ※一般のうち緩和ケア病棟24床	花巻厚生257床（一般243床、結核14床） ※花巻厚生は現在65床を休床中である。 北上260床（一般250床、結核10床） 計（一般493床、結核24床）
診療科 ※	21診療科（新設診療科4科） リハビリテーション科、麻酔科、病理科、心療内科	花巻厚生～14診療科 北上～16診療科

※標榜診療科数については、「広告可能な診療科名の改正」に伴い見直す予定であること。

(2) 施設規模

区分	新病院	現病院
敷地	所在地 北上市村崎野地内	(花巻厚生) 花巻市御田屋町地内、(北上) 北上市九年橋地内
	面積 約100,000㎡	(花巻厚生) 17,224㎡ (北上) 20,882㎡
建物	構造 鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
	延面積 約32,600㎡	(花巻厚生) 12,047㎡、(北上) 13,590㎡

(3) 設備整備等

- ①PET・リニアック棟の新設（PET装置は新設、リニアックは北上病院を更新整備）
- ②電子カルテシステムの導入（電子カルテを核とした、新医療情報システムの導入）

(4) 開院日

平成21年4月1日（予定） ※名称は未定

2 新病院における診療機能等について

(1) 統合の考え方

- ① 原則として、北上病院の現有機能を受け継ぐとともに、診療機能の強化を図ること。
- ② 新病院における種々の運営マニュアル等については、現北上病院の内容を引き継ぎ、新病院に併せて更新することとしていること。
- ③ 財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」は、現在北上病院のみが認定されており、これを継続することとしていること。
- ④ 各種学会等の認定施設は、北上病院で取得している内容をほとんど継続することとしていること。

(2) 施設認定等の状況について

区分	北上病院	花巻厚生病院	備考
地域がん診療連携拠点病院	有	無	
病院機能評価	有	無	H18.3.20 (Ver. 4.0)
学会認定施設等	18学会等	4学会等	

3 地域がん診療連携拠点病院の継続指定に対する病院としての考え方

当院（北上病院）は、平成20年2月8日に地域がん診療連携拠点病院の指定を受けたものであるが、次の理由から、「がん診療連携拠点病院の整備について」（平成20年3月1日付け健発第0301001号厚生労働省健康局長通知）Vの1の(1)によるいわゆる「みなし指定」をお願いするものである。

- (1) これまで、地域がん診療連携拠点病院として、がん相談支援センターの機能充実や地域医療機関との連携を図ってきているところであり、指定を受けられない場合、地域住民や地域医療機関への多大な影響が想定されること。
- (2) 現在、新病院の開院に向けて診療体制確保をはじめとする新基準に対応する体制の整備を進めており、平成21年4月1日からはその体制が整う見込みであること。

	都道府県拠点	地域拠点
新規申請	0	3
既指定病院	1	5
計	1	8

>合計 : 9

「※」は、新入院患者数が1,200人に満たない場合。

【新規申請病院】

県立胆沢病院	
申請区分 病床数 新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合) 外来がん患者延数 悪性腫瘍手術総数 放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数] 化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数] 化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数] 緩和ケアチーム新規依頼件数 病理診断件数(迅速検査件数) 相談支援センター相談件数 指定要件の充足度	地域がん診療連携拠点病院 351 床 ※530 人 (8%) /年 25,452 人/年 108 件/2か月 584 人/年 1,827 回/2か月 112 人/2か月 209 件/2か月 222 人/2か月 428 件/2か月 1 件/2か月 640件/2か月 (24件/2か月) 120 件/2か月 ・指針に定める必須要件の整備が行われている。

県立大船渡病院	
申請区分 病床数 新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合) 外来がん患者延数 悪性腫瘍手術総数 放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数] 化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数] 化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数] 緩和ケアチーム新規依頼件数 病理診断件数(迅速検査件数) 相談支援センター相談件数 指定要件の充足度	地域がん診療連携拠点病院 489 床 ※483 人 (8%) /年 2,386 人/年 46 件/2か月 52 人/年 397 回/2か月 33 人/2か月 240 件/2か月 69 人/2か月 316 件/2か月 17 件/2か月 578件/2か月 (17件/2か月) 0 件/2か月 ・指針に定める必須要件の整備が行われている。

県立久慈病院	
申請区分 病床数 新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合) 外来がん患者延数 悪性腫瘍手術総数 放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数] 化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数] 化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数] 緩和ケアチーム新規依頼件数 病理診断件数(迅速検査件数) 相談支援センター相談件数 指定要件の充足度	地域がん診療連携拠点病院 342 床 ※862 人 (17%) /年 674 人/年 32 件/2か月 45 人/年 424 回/2か月 58 人/2か月 411 件/2か月 72 人/2か月 308 件/2か月 6 件/2か月 277件/2か月 (4件/2か月) 2 件/2か月 ・指針に定める必須要件の整備が行われている。

【参考:既指定病院】

岩手医科大学附属病院	
区分	都道府県がん診療連携拠点病院
病床数	1,051 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	3,978 人 (26%) /年
外来がん患者延数	50,808 人/年
悪性腫瘍手術総数	207 件/2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	559 人/年 6,085 回/2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	295 人/2か月 1,369 件/2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	362 人/2か月 640 件/2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	19 件/2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	1355件/2か月 (79件/2か月)
相談支援センター相談件数	73 件/2か月

県立中央病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	685 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	3,471 人 (21%) /年
外来がん患者延数	24,697 人/年
悪性腫瘍手術総数	164 件/2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	489 人/年 1,728 回/2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	122 人/2か月 348 件/2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	256 人/2か月 713 件/2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	35 件/2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	960件/2か月 (77件/2か月)
相談支援センター相談件数	446 件/2か月

県立北上病院	
区分	地域がん診療連携拠点病院
病床数	260 床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※1,043 人 (20%) /年
外来がん患者延数	16,660 人/年
悪性腫瘍手術総数	60 件/2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	127 人/年 1,742 回/2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	29 人/2か月 77 件/2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	75 人/2か月 216 件/2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	21 件/2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	439件/2か月 (8件/2か月)
相談支援センター相談件数	19 件/2か月

県立磐井病院	
区分 病床数	地域がん診療連携拠点病院 315床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	1,956人(27%) /年
外来がん患者延数	16,631人 /年
悪性腫瘍手術総数	75件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	303人 /年 1,753回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	60人 /2か月 735件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	87人 /2か月 1,977件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	4件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	886件 /2か月 (5件 /2か月)
相談支援センター相談件数	165件 /2か月

県立宮古病院	
区分 病床数	地域がん診療連携拠点病院 387床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※1,088人(17%) /年
外来がん患者延数	1,727人 /年
悪性腫瘍手術総数	72件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	66人 /年 825回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	100人 /2か月 215件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	71人 /2か月 207件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	4件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	458件 /2か月 (7件 /2か月)
相談支援センター相談件数	42件 /2か月

県立二戸病院	
区分 病床数	地域がん診療連携拠点病院 300床
新入院がん患者数 (新入院患者数に占める割合)	※597人(13%) /年
外来がん患者延数	10,937人 /年
悪性腫瘍手術総数	30件 /2か月
放射線治療(体外照射) [患者実数] [照射回数]	117人 /年 378回 /2か月
化学療法総数(入院) [のべ患者数] [のべ処方日数]	29人 /2か月 123件 /2か月
化学療法総数(外来) [のべ患者数] [のべ処方日数]	41人 /2か月 190件 /2か月
緩和ケアチーム新規依頼件数	6件 /2か月
病理診断件数(迅速検査件数)	396件 /2か月 (12件 /2か月)
相談支援センター相談件数	40件 /2か月